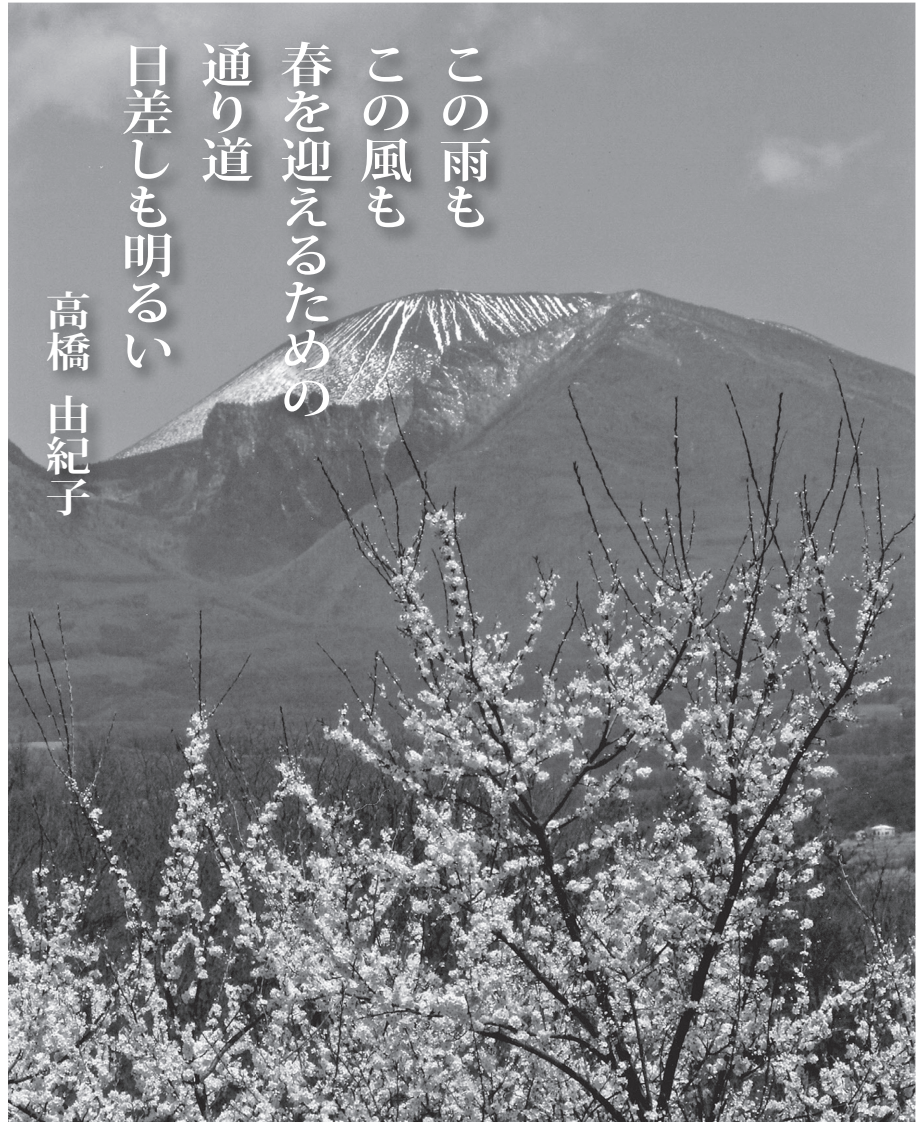




発行／小諸市公民館  
編集／館報編集委員会  
〒384-0801  
長野県小諸市甲1275-2  
☎0267-23-8880

五行歌で  
四季をうたう



この雨も  
この風も  
春を迎えるための  
通り道  
日差しも明るい

高橋 由紀子

〈五行歌とは〉

思ったことをそのままのことばで、五行に表す新しい形式の歌。全音数や季語などの制限はありません。

こもろ五行歌の会

※写真撮影は  
会員の倉本妙子さん

女兒の成長や幸福を願う「ひな祭り」、ひな人形を飾り桃の花、ひなあられ、菱餅、白酒をひな人形に供え、そのひな人形という小さな人形で遊ぶことが平安時代からありました。

また、身の穢れや災いを紙で作った人形に移し、それを川に流して厄払いをした「流し雛」の風習が「ひな祭り」の起源の様です。

全国的に行事が行われるようになるのは明治以降のことであり、日本各地にも個性的な「郷土雛」もありましたが「変わり雛」などの着想の面白さを競う人形も生まれました。近年は家族構成や住宅事情などからケースに入った木目込み人形や、団地サイズも現れ多様化しています。

春夏秋冬、日本各地で行われる伝統文化や祭り芸能、古き良き時代のこととは思わずに、現在の生活と組み合わせ「生活の中の文化」と考え、共に継続していきたいと思えます。

編集委員 宮坂 武善

